

東邦大学大学院看護学研究科

博士後期課程

- I 博士後期課程履修規程・・・・・・・・・・後-1
- II 授業科目、単位数および学年配当・・・・・・・・・・後-2
- III 教育課程・・・・・・・・・・後-4
- IV 看護学特別研究（博士論文）について・・・・・・・・・・後-5
- V 修了までのプロセス・・・・・・・・・・後-13

I 博士後期課程履修規程

(趣旨)

第1条 授業科目(以下科目という。)の履修方法等については、学則および東邦大学大学院規程に定めるもののほかこの規程による。

(課程担当教員の指定)

第2条 入学を許可された者は、入学当初に指導を受けようとする教員(以下「指導教員」という。)を選択し、看護学研究科委員会の承認を受けるものとする。

(必修科目)

第3条 博士後期課程の学生が専攻する、看護学研究法特講と看護学特別研究は必修とする。

(履修届)

第4条 学生は学年始めに履修しようとする科目について所定の期日までに履修届を研究科長に提出し、承認を得なければならない。

2 学生は、科目の選択、論文の作成および研究一般について、指導教員の指導を受け承認を得るものとする。

(他の分野等の履修)

第5条 指導教員が必要と認めて他の分野の科目を選択履修させた場合は、その科目を履修単位として認定することができる。

(聴講)

第6条 本大学院看護学研究科博士後期課程に在学する者は、研究指導にあたる教員と当該科目の担当教員の許可を得て、博士前期課程の授業科目を聴講することができる。

(成績の評価)

第7条 科目の成績評価は、優・良・可・不可をもって評価し、優・良・可を合格、不可を不合格とする。

2 学位論文及び最終試験の成績は、合・否をもって評価し、合を合格、否を不合格とする。

(単位の授与)

第8条 前条の評価により合格した科目には、所定の単位を与える。

(学位論文の提出)

第9条 博士後期課程において所定の科目を8単位以上修得した者または修得見込みの者は博士論文を提出することができる。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

この規程は、一部改正(東邦大学大学院規程制定に伴う変更)のうえ、平成31年4月1日から施行する。

Ⅱ 授業科目、単位数および学年配当

【2020年度以降入学生】

分野	授業科目	単位数		修了 単位数	内訳			履修時期				
		必修	選択		講義	演習	実験・ 実習	春学期	秋学期			
共通 科目	看護学特別研究	8		10			8	研究指導教員と相談の上、履修時期、期間を決定する。				
	看護学研究法特講	2			2			○				
専門 科目	基盤・ 実践看護学分野	基礎看護学特講	2	専門分野の指導教員の特講と演習4単位、および支持科目または他の特講2単位以上、 合計6単位以上	2			○				
		基礎看護学演習	2			2				○		
		感染制御学特講	2		2			○				
		感染制御学演習	2			2				○		
		感染制御看護学特講	2			2		開講せず				
		感染制御看護学演習	2			2						
		がん看護学特講	2			2			○			
		がん看護学演習	2			2		2			○	
		臨床看護学特講	2			2				○		
		臨床看護学演習	2			2		2			○	
		高齢者看護学特講	2			2				○		
		高齢者看護学演習	2			2		2			○	
		母子保健学特講	2			2				○		
		母子保健学演習	2			2		2			○	
	小児看護学特講	2			2				○			
	小児看護学演習	2			2		2			○		
	国際・ 広域看護学分野	国際保健学特講	2			2				○		
		国際保健学演習	2			2		2			○	
		精神看護学特講	2			2				○		
		精神看護学演習	2			2		2			○	
		在宅看護学特講	2			2				○		
		在宅看護学演習	2			2		2			○	
		公衆衛生看護学特講	2			2				○		
		公衆衛生看護学演習	2			2		2			○	
		支持科目	看護理論			2	2				○	
			医療言語論特講			2	2				○	
	疾病論特講				2	2					○	
	合 計	10	54	16	32	24	8					

【2019年度以降入学生】

分野	授業科目	単位数		修了 単位数	内訳			履修時期			
		必修	選択		講義	演習	実験・ 実習	春学期	秋学期		
共通 科目	看護学特別研究	8		10			8	研究指導教員と相談の上、履修時期、期間を決定する。			
	看護学研究法特講	2			2			○			
専 門 科 目	基盤・実践看護分野	看護管理学特講	2	専門分野の指導教員の特講と演習4単位、および支持科目または他の特講2単位以上、 合計6単位以上	2			○			
		看護管理学演習	2			2				○	
		看護技術特講	2			2			○		
		看護技術演習	2				2				○
		感染制御学特講	2			2			○		
		感染制御学演習	2				2				○
		感染制御看護学特講	2			2			開講せず		
		感染制御看護学演習	2				2		開講せず		
		がん看護学特講	2			2			○		
		がん看護学演習	2				2				○
		成人看護学特講Ⅰ	2			2			開講せず		
		成人看護学演習Ⅰ	2				2		開講せず		
		成人看護学特講Ⅱ	2			2			開講せず		
		成人看護学演習Ⅱ	2				2		開講せず		
		高齢者看護学特講	2			2			○		
		高齢者看護学演習	2				2				○
		性・生殖看護学特講	2			2			○		
		性・生殖看護学演習	2				2				○
	小児看護学特講	2			2			○			
	小児看護学演習	2				2				○	
	国際 広域・ 地域 看護学 分野	国際広域保健学特講Ⅰ	2			2			○		
		国際広域保健学演習Ⅰ	2				2			○	
		国際広域保健学特講Ⅱ	2			2			開講せず		
		国際広域保健学演習Ⅱ	2				2		開講せず		
		在宅看護学特講	2			2			○		
		在宅看護学演習	2				2				○
		地域看護・ケアシステム特講	2			2			○		
地域看護・ケアシステム演習		2			2				○		
地域看護・健康政策特講		2		2			○				
地域看護・健康政策演習		2			2				○		
支持 科目	医療言語論特講		2		2			○			
	疾病論特講		2		2				○		
合計		10	64	16	36	30	8				

Ⅱ 教育課程

博士後期課程修了要件

1. 博士後期課程においては、3年以上在学し、16単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で博士論文を提出し、その審査と最終試験に合格すること。

学位

博士（看護学）

修了要件：16単位

【履修方法】

共通科目（10単位）

看護学特別研究 8単位

看護学研究法特講 2単位

専門科目・支持科目（6単位以上）

- ・専攻領域の特講と演習で4単位、支持科目または他の専門科目の特講から2単位以上を選択する。

※他の専門科目の特講を選択する場合は、科目担当教員の了解を事前に得ること。

Ⅲ 「看護学特別研究」(博士論文)について

1. 博士論文研究計画書

1) 提出

- ・研究計画書は2年次以降の提出を認める。ただし、「看護学研究法特講」を履修済みであること。
- ・指導教員と相談のうえ「研究計画書審査担当教員希望届」を、研究計画書提出締切日の1ヶ月前(前月15日)までに提出する。ただし、希望どおりの審査担当教員になるとは限らない。
- ・毎年4月のガイダンスで連絡する締切日程までに、以下を学事課大学院担当事務に提出し、受領書を受け取る。
 - ①「研究計画書審査申請書」 1部
 - ②「研究計画書要旨」 1部
 - ③「研究計画書」 審査担当教員数+事務室保管用1部の合計部数
- ・研究計画書は各自が用意したファイルに綴じて提出すること。
- ・各様式は、Active Academyよりダウンロードする。

2) 研究計画発表会

- ・他領域の教員から研究内容に関する助言を得ることで博士論文の質を高めることを目的とし、計画書の内容を発表する。
- ・研究計画発表会は、研究計画書提出月の設定日に行う。日程は毎年4月のガイダンスで連絡する。
- ・研究計画発表会の所要時間は、およそ1時間(発表30分、質疑30分)、発表形式は自由とする。
- ・研究計画発表会の時間、教室は事務より連絡を受ける。当日の準備、運営は、指導教員の指導のもと大学院生自身で行う。配布資料がある場合は各自で必要部数を準備する

3) 審査

- ・主査1名、副査2名~3名による審査委員会の審査を受ける。修正箇所を指摘された場合は、該当箇所を修正し、主査・副査の確認を受ける。
- ・研究計画書審査結果は、大学院研究科委員会にて承認を受ける。
- ・研究計画書の審査結果の主査による研究科委員会への報告は、提出から半年程度を期限とする。

4) 倫理審査の申請

- ・研究計画書合格通知を受け取った後に倫理審査の申請を行うことができる。

2. 論文執筆ガイドライン

研究計画書ならびに学位論文を作成するにあたり、論文執筆の上で参考となるガイドラインを下記に記す。原則的に米国心理学会（American Psychological Association, APA）が発行している『Publication Manual of the American Psychological Association, 6th ed.』（2009）／『APA 論文作成マニュアル第2版』（2011）[医学書院]に準拠するが、専門領域などの学術誌の投稿規程の執筆ガイドラインを参考に作成することも認める。

1) 論文の主な構成

研究の背景（理論的背景、目的、意義など含む）

文献検討

研究方法（依頼手順、選定方法、分析方法・信頼性と妥当性、倫理的配慮など含む）

結果

考察

結論

引用文献

図表（本文中に挿入しても良い）

添付資料（依頼状、同意書、質問紙、インタビューガイドなど含む）

2) 執筆要領

- (1) 原稿はA4サイズ用の紙を使用し縦置き横書きとする。書式は上下・左右余白ともに25mm程度とし、文字サイズは10.5ポイント以上、1頁40字×35行程度とする。
- (2) 原稿は日本語、もしくは英語を用いる。なお、日本語の場合は現代仮名遣いに従い、原則として常用漢字を用いる。文体は「である調」を基本とする。句読点は、日本語では「、」「。」、英語では「,」「.」で統一する。
- (3) 数字は算用数字を用い、単位や符号は慣用のものを用いる。本文や図表中（文献は除く）で用いられる数字および欧文については、原則として半角文字を使用する。
- (4) 外来語はカタカナで、外国人名などと日本語訳が定着していない学術用語などは原則として原語で記載する。
- (5) 論文の構成をわかりやすく提示するために見出しを階層化する。第1階層は論文タイトルで、見出しに数字やアルファベットを付けない。
- (6) 本文の見出し順位は、以下の通りとし、見出しに付ける数字・記号、およびピリオドは全角を使用する。

第2階層：Ⅰ．Ⅱ．Ⅲ．	中央揃え
第3階層：1． 2． 3．	左端揃え
第4階層：1) 2) 3)	上位の見出しより1字下げる
第5階層：(1) (2) (3)	上位の見出しより1字下げる

- (7) 図表は、図 1、表 1、などと番号をつけ、本文中に挿入する。表のタイトルは表本体の上、図のタイトルは図本体の下とする。

3) 引用文献の記載方法

- (1) 本文中の引用箇所には著者名と出版年を表示して引用であることを示すとともに、著者名と出版年をもとに文献リストと対応できるようにする。

(1)-1 著者名の直後に半角カッコで括った出版年を表示する場合
福島(2017)は、○○を△△と分類している。

(1)-2 半角カッコ内に著者名と出版年を「(著者名, 出版年)」で示す場合。著者名と出版年の間は半角カンマで区切る。
○○は△△と分類される(福島, 2017)。

(1)-3 2名の共著者の場合は、すべての引用箇所に2名の著者名を標記し、共著者が3～5名の場合は、初出の引用箇所で全員を列挙する。同じ著作物を再度引用する際には筆頭著者に日本語の場合「ら」、欧文名著者の場合は「et. al.」を付して表示する。共著者が6名以上の場合は、筆頭著者+らとする。
○○は□□と分類される(岩手, 福島, 2018)。

○○は◇◇と分類される(Yamagata, Fukushima, Iwate, Akita, & Aomori, 2016)。

初出引用: Fukushima, Iwate, and Aomori (2019)は○○を◇◇と分類している。

再引用: Fukushima et al. (2019)の報告は…

(1)-4 著者が団体の場合は、原典に記載されている名称をフルネームで記載する。著者名のない新聞記事や出典の場合は、著者位置にタイトルを記載する。

(2) 引用文献は論文の最後にまとめて記載し、見出しは「文献」とする。

(3) 「文献」に記載された文献は本文で必ず引用しなければならない。また、本文で引用された文献は必ず「文献」の中に記載されている必要がある。

(4) 文献は、日本語文献と外国語文献を分けずに、著者（共著の場合には第一著者）の姓によるアルファベット順に並べる。

(5) 同一著者が単独で発表している文献と、第一著者として発表している共著文献がある場合には、単独発表のものを先にし、次に共著のものを並べる。

(6) 同一の著者あるいは同一配列の共著者の文献が複数ある場合には、刊行年次によって早いものから順にならべる。

(7) 同一著者で刊行年次も同じ文献は、発行年にアルファベットを付し、これらの文献を区別する。なお、本文中の記載においても、同様の扱いとする。

(8) 著者が8名以上の場合は、最初の6名を列挙し省略記号... とともに、最終著者を記載する。

Greenhill, A. R., Tsuji, H., Ogata, K., Natsuhara, K., Morita, A., Soli, K., ... & Naito, Y. (2015). Characterization of the gut microbiota of Papua New Guineans using reverse transcription quantitative PCR. PLoS One, 10(2), e0117427.

(9) 記載方法は下記の例に従い、数字、括弧、コンマ、ピリオド、コロン、スペースは半角とする。

(9)-1 雑誌の場合：著者名（出版年）. 論文名. 雑誌名. 巻数(号数), 開始ページ-終了ページ.

例) 齋藤益子, 山崎圭子, & 遠山珠未. (2010). 助産師からみた妊婦健康診査体制の現状と問題点--妊婦のセルフケア能力を育む母子健康手帳補足版の検討. 日本母子看護学会誌, 4(2), 43-49.

例) Morrison-Beedy, D., Aronowitz, T., Dyne, J., & Mkandawire, L. (2001). Mentoring students and junior faculty in faculty research: A win-win scenario. Journal of professional nursing, 17(6), 291-296.

(9)-2 単行本の場合：著者名（出版年）. 書名. 出版者, 総ページ数.

例) 高木廣文. (2011). 質的研究を科学する. 医学書院, 144.

例) Benner, P. (1984). From novice to expert, excellence and power in clinical nursing practice. Menlo Park, CA: Addison-Wesley Publishing Company, 307.

(9)-3 翻訳書の場合：原著者名. (原書出版年/翻訳書出版年). 翻訳者名(訳). 翻訳書名. (pp. 開始ページ-終了ページ). 発行元.

例) Glaser, B.G., Strauss, A.L. (1965/1988). 木下康仁. 死のアウェアネス理論と看護(1版) (pp. 65-80). 医学書院.

(9)-4 ホームページの場合：著者名. (作成年). タイトル. URLアドレス. 利用できる日付がない著作物の年は(n. d.)と表示する。

例) 厚生労働省 (2008). 平成 18 年(2006)病院報告の概況.

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/byouinhoukoku/18/index.html>.

5) 表紙の書式

年 月 日
○年度東邦大学大学院看護学研究科 看護学専攻博士論文 研究計画書
論文題目 <input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/>
指導教員 主査：○○ ○○ 副査：○○ ○○ 副査：○○ ○○
学籍番号 ND○○○○○ 氏 名 ○○ ○○

年 月 日
○年度東邦大学大学院看護学研究科 看護学専攻博士論文
論文題目 <input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/>
指導教員 主査：○○ ○○ 副査：○○ ○○ 副査：○○ ○○
学籍番号 ND○○○○○ 氏 名 ○○ ○○

3. 倫理審査

- ・研究倫理審査は、東邦大学看護学部倫理審査委員会へ提出し審査を受ける。
- ・看護学部倫理審査の手続きならびに申請書に関しては、看護学部ホームページの「看護学部倫理審査委員会」を参照すること。
- ・看護学部倫理審査委員会は、8月は開催しないので注意すること。

4. 博士論文

1) 博士論文提出

- ・博士論文提出年度の10月末日までに「学位論文審査担当教員希望届」を提出する。
- ・博士論文提出年度の1月末日17:00までに、以下を学事課大学院担当事務に提出し、受領書を受け取る。
 - ①「学位論文審査申請書」(後期様式1) 1部
 - ②戸籍抄本 1部
 - ・氏名と本籍地のみ記載されたものを提出すること。
 - ・文部科学省に学位授与報告を行う際の「本籍地」の確認に使用する。なお、日本国籍でない場合はパスポートの写しを1部提出すること。
 - ③ 博士論文 審査担当教員数+事務室保管用1部の合計部数
以下をファイルすること。
 - ・「論文目録」(後期様式2) ※申請者の欄には必ず本人が署名する。
 - ・「博士論文要旨(和文)」(後期様式3)
 - ・「博士論文要旨(英文)」(書式自由)
 - ・修士論文(審査用)
- ・博士論文は各自が用意したファイルに綴じて提出すること。
- ・ファイルに貼付する表紙は、研究計画書に準ずる様式で作成すること。
- ・各様式は、Active Academyよりダウンロードすること。

2) 博士論文審査および最終試験

- ・2月上旬に博士論文審査および最終試験を行う。審査日時は、Active Academyに実施要項を掲載する。
- ・審査後は、指導教員のもとで論文審査の場で指摘された箇所の修正等を行う。修正論文は、指定された締切日までに、1部を学事課大学院担当事務へ提出する。
- ・保存用の学位論文は、審査に合格後、各自製本する。学事課で受領後、看護学部図書館にて保管する。論文製本の印刷業者は特に指定しない。製本論文の装丁については、5)製本論文の装丁を参照すること。

3) 大学院論文発表会

- ・博士論文審査および最終試験合格後、定められた日時に一般公開にて実施する。
- ・発表会は大学院生が運営する。

4) 学位授与決定後の提出物

①～⑤を3月末日17時までに学事課大学院担当事務に提出する。

- ① 製本論文（黒布・金文字の装丁）1部
- ② リポジトリ公開用論文データを入れたUSB等 1つ

以下をそれぞれ別ファイルで保存すること。

- ・博士論文全文 【PDF データ】
- ・博士論文要旨（和文）【Word データ】
- ・博士論文要旨（英文）【Word データ】

※データ提出時の注意事項

- ・外部情報源（外部フォント等）を参照していないこと（フォントを埋め込んだファイルとすること）
 - ・暗号化、パスワードの設定、印刷制限等を行わないこと（文書を開くパスワードの設定及び印刷を制限するパスワードの設定は行わないこと）
 - ・提出されたUSB等は返却しない。
- ③ 東邦大学学術リポジトリ登録申請書（看護学博士）（Active Academyよりダウンロード）1部
 - ④ 実施状況報告書（看護学部倫理審査委員会様式8）（Active Academyよりダウンロード）1部

5) 製本論文の装丁

博士論文は下図に示す装丁例を参考にして製本すること（黒布張り・金文字）。

(背表紙)

東 邦 大 学 大 学 院 看 護 学 研 究 科 看 護 学 専 攻 博 士 論 文
和 文 タ イ ト ル
氏 名
2020

(表紙)

2020年度東邦大学大学院看護学研究科看護学専攻博士論文
和文タイトル 英文タイトル
氏 名

(中扉)

2020年度東邦大学大学院看護学研究科看護学専攻博士論文
和文タイトル 英文タイトル
学籍番号 氏 名
指導教員
主査：○○ ○○ 東邦大学大学院看護学研究科 教授
副査：○○ ○○ 東邦大学大学院看護学研究科 教授
副査：○○ ○○ 東邦大学大学院看護学研究科 教授
20○○年○月○日提出
(審査で合格を受けた日に合わせる)

6) 公表

- ・文部科学省より学位規則の一部を改正する省令が 2013 年 3 月 11 日に公布され、2013 年 4 月 1 日より施行された。これにより看護学研究科学位規程が改正され、学位論文および学位論文要旨の公表は、インターネット利用（東邦大学学術リポジトリ）により行うこととなった。
- ・「博士論文要旨および論文審査の結果の要旨」は、原則として学位を授与した日から 3 ヶ月以内に、「博士論文全文」は、原則として学位を授与した日から 1 年以内に公表する。
- ・東邦大学学術リポジトリについては東邦大学医学メディアセンターのサイトを参照すること。

5. その他

- ・各提出期日について、締切当日が土曜日の場合は 12 : 00、日曜日等で休校の場合は前日とする。
- ・研究にかかる費用は個人負担とする。

V 修了までのプロセス

年次	月	博士後期課程
1	4月	履修届提出*1
2	4月以降	研究計画書審査担当教員希望届提出（審査1ヶ月前まで） 研究計画書提出*2（4月・5月・9月・11月・3月） 研究計画書発表会 研究計画書審査会 看護学研究科委員会からの研究計画書合格承認 倫理審査
3	10月	学位論文審査担当教員希望届提出
	1月	博士論文提出
	2月	論文審査および最終試験
		修了判定
		論文発表会
	3月	学位記授与式

*1 指導教員と相談して科目を選択し、決定した科目を届ける。
2年次以降も同様に学年初めの所定の期日までに提出する。

*2 「看護研究方法」を履修済みであること